

令和5年 5月2日発行

特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

訃報

当協会代表理事の中島清治さんが3月22日(水)、ご自宅でご家族に看取られ、永眠されました。中島さんは2014年12月に草加市カヌー協会を設立し、今日に至るまで多くの功績を成し遂げられてきました。享年75歳、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



2022年9月埼玉県水環境課の取材を受けた際の写真



中島さんは、埼玉県の小学校や特別支援学校で37年間教壇に立たれ、草加市カヌー協会以外にも草加市歴史民俗資料館、草加市図書館協議会委員、草加ペンクラブ会長、今様草加宿発起人などを務められ、数多くの場で草加市の未来のために活動されてきました。昨年5月にがんが見つかり、治療・闘病を行いながらも、亡くなる直前までパドラーズ内外の活動を続けられていました。どんなときも弱音を吐くことなく、常に我々会員の模範となる本当に素晴らしいリーダーでした。中島さんのご遺志をこれからも絶やすことなく繋げていきましょう。

「中島清治さんを偲ぶ」 第一回 会員 増田智大さん



幼少期からスプリント競技をしていた私ですが、地元を離れることとなり暫くカヌーから離れた生活をしていました。

そんなある日に綾瀬川でカヌーを漕いでいる中島さん達を見かけ、すぐに声をかけました。中島さんは快く受け入れて下さり、当時私生活で悩んでいた私にとって、光が差した瞬間でした。

普段の活動のことなどを大きな熱意とともに伝えてくださり、また活動時にはあたたかい心で気にかけてくださりました。さらには、通常活動だけでは物足りないだろうからと、いつでも漕げるよう環境も整えてくださりました。そのお人柄、お気持ちで、悩んでいた私の心はとても救われました。

パドラーズの活動を通してカヌーという1つのツールで様々な活動を行い、社会に貢献することが出来る。カヌーはひたすらに漕ぐだけの物という認識だった私に、無限の可能性を教えてくださいました。中島さんのお陰で、今まで以上にカヌーが好きな自分に成長することが出来ました。

本当に感謝しています。
安らかにお眠り下さい。

草加市カヌー協会会員 増田 知大